



アンコールクライマーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2013/5/31 第12号

世界へとびだせ、カンボジア・ユース !!

メサとお母さん

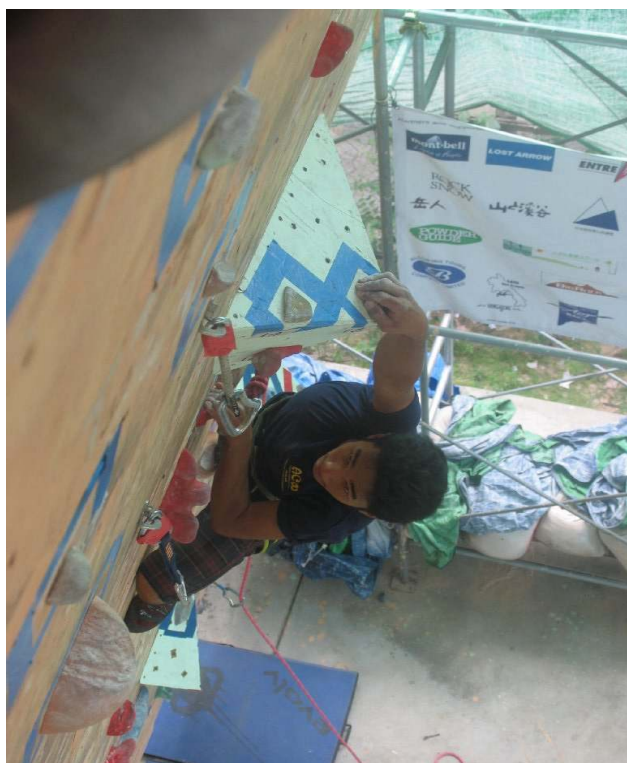
セイハ、メサ

2013年8月、ジュニア・オリンピック・カップ
@富山県南砺市、特別出場決定!!

とても珍しい写真。90°壁で、メサがトップロープ、セイハがピレイ、2人は誰かにサンプルクライミングを披露していたのかも。憶えない。(伊藤)

セイハとお母さん

日本山岳協会からの支援活動として、8月に富山県で開催されるクライミング競技会「ジュニア・オリンピック・カップ大会」に、セイハとメサ、2名の参加が決まった。



↑ 昨年12月のアンコールカップ、スパーファイナル5. 12bで4位となったメサのクライミング

← 同じく、最高点をマークして2年連続総合優勝を果たしたセイハ

カンボジア・ユース・クライマーの招聘・研修計画

2013年1月に、ACNを通じて、カンボジア・クライミング連盟(CCF)より、日本山岳協会(JMA)へ、始まったばかりのカンボジアのクライミングを正しく普及するための支援要請があった。そこで、8月に富山県南砺市(なんとし)で開催される青少年を対象にしたクライミング競技会「第16回 JOC ジュニア・オリンピック・カップ大会」への参加をクライマックスとしたカンボジア人・ユース・クライマーの研修計画を立案し、実施することとなった

・目的

1. カンボジア・ユース・クライマー対象に、日本国内にて下記の研修を行う
 - ① クライミング技術講習及びトレーニング
 - ② 倫理、マナー講習
 - ③ 国際レベルの競技会体験 ※「第16回 JOC ジュニア・オリンピック・カップ大会」に特別参加
2. 競技会参加、親睦会等、滞在中のイベントを通じて、日本とカンボジアの親善、交流に寄与する

・期間

2013/7/10 ~ 2013/8/20

派遣メンバー3名のプロフィール

ソー・セイハ(Sor Seyha) 10マカラ高校 グレード11(高校2年相当) 競技出場(ジュニアクラス)

2011年1月よりクライミングを始めた。同年6月のトレーニングコンペで5.11bをオンサイトして優勝、翌2012年1月の第1回アンコールカップで、5.11dの超決勝をオンサイトして優勝、2012年12月の第2回アンコールカップでも、5.12bの超決勝でただ一人最終ホールドにタッチ、フォールはしたが最高ポイントで優勝した。このときのルートセッターは信州佐久の浅井和英、それ以前は、アンコールクライマーネットの代表を務める伊藤忠男が担当した。本人は外岩でのクライミングを熱望しているが、未成年でもあり、経験はまだ僅少である。学業成績が良く、低学年生への指導力も良好で、カンボジアのクライミング初世代のリーダーとして期待される。

キム・メサ(Khim Mesa) 10マカラ高校 グレード12(高校3年相当) 競技出場(ジュニアクラス)

セイハ同様、2011年1月よりクライミングを始めた。同年6月のトレーニングコンペで2位、翌2012年1月の第1回アンコールカップで、5.11dの超決勝でセイハに敗れ、2位、2012年12月の第2回アンコールカップでは、5.12bの超決勝で4位。すでにACNのインストラクターも勤める。人工壁よりも、外岩でのセンスが際立ち、また初心者への講習も丁寧で、その分野での適性を窺がわせる。4歳で父親と死別。家業の農業ではすでに一家の大黒柱である。

セム・サローン(Soem Saran) プレエンコサ中学校教諭 監督

ACNのカンボジア・リーダー、カンボジア・クライミング連盟・事務局長

出場コンペの概要

公益社団法人 日本山岳協会主催 第16回 JOC ジュニア・オリンピック・カップ大会

・開催期日 2013/8/10(土)~2013/8/12(月) 8/10、8/11=予選、8/12=決勝

・会場 富山県南砺市・桜ヶ池クライミングセンター

〒939-1835 富山県南砺市立野原東1511 Tel:0763-62-8123

・会場への行き方 ◎お車をご利用の場合

一般道 国道304号福光インター前交差点を桜ヶ池方面へ。

高速道 北陸自動車道 小谷部砺波JCTから岐阜方面へ。

東海北陸自動車道を13分(福光IC降車で直進約7分)

城端SAに併設する「桜ヶ池クアガーデン」正面

◎公共交通機関をご利用の場合

JR高岡駅より城端線で終点城端まで約50分。下車後、駅より車(タクシー)で約5分。

※宿泊施設、その他詳細はJMAのサイト(<http://www.jma-sangaku.or.jp/cominfo/>)をご覧ください

応援のお願い

会場至近の宿泊施設は、時期的に相当な混雑な見込まれます。ACNでは、キャンプ場を借りて応援に来られる方が宿泊(有償)できるように準備する予定です。往復の交通機関についても、相互連絡をとって、自家用車に同乗など様々な便宜をはかりたいと考えています。応援団にはどなたでも参加できます。参加を希望される方は下記、**応援団長・イトウアキコ宛**、どうぞご連絡ください

email: info@angkorclimbers.net tel. 042-498-2488

親善・交流イベント参加のお願い

カンボジア人3名の日本滞在中、下記の予定で親善・交流イベントが計画されています。どなたでも参加できます。参加を希望される方は下記、**親善団長・ヤスダラッセル宛**、遠慮なくご連絡ください。なお、本イベントでは、今回の招聘プロジェクト及びカンボジアのクライミング普及事業への支援・寄付をお願いします。どうぞご理解、ご協力をお願いします。

email: info@angkorclimbers.net tel. 055-252-5254

応援団参加者募集

日程	イベント	開催場所	備考
7/20(土)	夕食会	佐久平ロッククライミングセンター	PM6:00 開始
7/21(日)	ハイキング	佐久周辺	
7/27(土)	夕食会	東京(詳細未定)	
7/28(日)	ハイキング	東京から日帰り圏(詳細未定)	
8/3(土)	夕食会	東京(詳細未定)	
8/4(日)	ハイキング	東京から日帰り圏(詳細未定)	
8/17(土)	子供クライミング交流会	小川山	廻り目平 10 時集合
	夕食会	甲斐大泉ラッセル邸	PM5:00 開始
8/18(日)	お別れ会(夕食)	東京(詳細未定)	

※開催場所の地図など詳細は ACN サイト(<http://www.angkorclimbers.net>)に順次アップしていきます

活動報告 2013/1～5

●1月・AW ストアー拡張

手狭になっていたAWのストアを南北に2m拡張した。

●2月・JMA親善訪問

2月10日夕方、日本山岳協会(JMA)神崎会長と軽登山靴倶楽部御一行18名の方々が、AWを親善訪問された。残念ながらCCF代表ウ・シレイディ氏は風邪で同席出来なかったが、ACN-YOUTHメンバーのクライミング・デモのあと、様々な品を寄贈いただいた。翌11日、ACNが2年ほど前から試登している、クーレン山の最高点を往復するハイキングコースに、みなさんをご案内した。ACNからは、メサ、スムロン、伊藤が、同行、案内役を務めた。

●3月・AW再生候補地リサーチ

現時点では、シムリアプ市郊外にあるスタジアムに移転する案が有力。しかし、市街地に走る公共交通機関のない現状では、生徒たちの大半が自力では通えなくなるだろうと予想される。市中心からバイクで30分掛かる。ただ、この体育館内に設置できれば、建物の構造体が利用できるので、費用がかなり節約になるだろう。その分をウォールと市街を往復するシャトルの導入に向けられるかもしれない。

●3月・シンポン3B新ルート開拓

ブローケン・バイヨン・バットレス(略称3B(トリプルビー))に、リードルートを2本設定。

- ・Broken Heart 5.10b、22m、B7
- ・Exodus 5.11a、28m、B11

クーレン山、タベン村にて



From ACN's Desk : 事務局から

・寄付・寄贈について

2013/5/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥4,811,873 + US\$12,510 となりました。また、里親基金累計総額は、¥1,760,000 + US\$1,250 です。ご寄付をいただいた方60名様、ご寄贈いただいた方23名様、及び里親となっていた方は4名様となっています。大変ありがとうございました。

2013年1月～5月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお本お知らせは、email版ニュースレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

一 寄付

清水不二様、林武子様、榎田猛彦様、栗原孝様、大岩明子様、軽登山靴倶楽部様、浅田信一郎様、福神和子様、林桂子様、中江恵美子様、堀田圭子様、有泉重正様、太田広和様、高橋千鶴子様、榊澤健治様(順不同)

一 里親

堀田圭子様、才原明男様、榊澤健治様、清水不二様(順不同)

また、公式資料類の英文化、英文校正は、Ms.ジェラルディン、モーガン三恵子様、塚内尚子様、福神和子様ボランティアでやっていただきました。ここに記して感謝いたします。

★★★ 寄付金用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認いただけます。
http://www.angkorclimbers.net/can_donation.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）
伊藤忠男気付
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）
Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)77-508653, +855-(0)12-1759970

・郵便住所
POBOX 93044, Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

・所在地
c/o Moloppor Café
Wat Bou village, Salakomrauk commune
Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net

スーン・チャンのオリジナルチョークバッグ



←スーン・チャンは、ACN 最年少で AW の隣に住む地の利を生かして、セイハやメサよりも早くからクライミングをやっていた。器用で様々なオリジナルグッズを作る。

→
モニイはテープの使用が一番激しい。指の保護というよりも、どうやらカッコが良いから。ウォールに来るとまずテーピングから。

テーピングでおしゃれするモニイ君



contents

- 01 世界へ飛び出せ、カンボジア・ユース
 - 02 カンボジアのユースクライマー研修・招聘計画
 - 03 活動報告
 - AW ストアー拡張工事
 - JMA 親善訪問
 - AW 再生候補地リサーチ
 - シンポン3B 新ルート開拓
- From ACN's Desk 事務局から
寄付・寄贈について

※写真、地図、イラストはすべて ACN オリジナルコンテンツです

editor's note

戸籍のシステムがまだ十分に浸透していないカンボジアは、今回 2 人が特別参加させていただくようなコンペへの公式出場は、まだ難しいかもしれません。年齢が 2 歳単位の精度でクラス分けされるからです。現時点でのカンボジアでは、望めない精度といえます。アンコールカップでの受付で、自分の誕生日が分からない子、年齢もそのときそのときで変わってしまう子が少なくありません。国を作ること、インフラを構築することなど、マクロで表現されてしまうと細部が見えませんが、税法や交通法規の施行同様、復興の細部の課題は山積みですね。日本の“復興”はやはりスゴイと思うこの頃です。(Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2013 年 5 月号 NO. 12 2013 年 5 月 31 日発行

非売品

発行人 伊藤忠男

編集人 伊藤忠男

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net